

全国健康保険協会山形支部 第8回健康づくり推進協議会 議事録

開催日時	平成25年12月16日(月)13時30分～15時15分	
開催場所	山形グランドホテル2階 アルプス	
出席委員	加入者代表	1名
	事業主代表	0名
	健康保険委員代表	3名
	保健医療関係者	1名
	学識経験者	1名
	行政	1名

議長

今回の協議会は大貫議長が欠席のため、上野副議長が議事進行を代行。

議事次第

1. 第二期特定健康診査等の国・協会けんぽの目標
2. 平成25年度から平成26年度にかけてのPDCAサイクル(健診)
辰仁保健リーダーより説明。
3. 平成25年度から平成26年度にかけてのPDCAサイクル(特定保健指導)
冨田保健リーダーより説明。
4. その他保健事業
中村保健統括リーダーより説明。
5. 山形支部の最近の取り組み
佐藤企画総務グループ長より説明。

主な質疑・意見内容

1. 第二期特定健康診査等の国・協会けんぽの目標
2. 平成25年度から平成26年度にかけてのPDCAサイクル(健診)
<健康保険委員>
平成25年度は鶴岡市と連携して実施したとのことだが、次年度別の市町村と行うなどとなったときに継続はどうするのか。
<事務局>
複数年度で実施している。鶴岡市へ生活習慣病予防健診未受診の事業所を選んで勸奨を委託している。生活習慣病予防健診の受診だけでなく、事業者健診からの切替や、データ提供のための同意書の提出を依頼したい。
<健康保険委員>
平成24年度、山形は受診率で1位ということだが、全国で1位だと広くPRし、1位を保つために市町村の受診率目標を達成しながら、鶴岡市などよいところを参考に拡大し、

全県民に積極的にPRして受診率を高める運動をしていくべきだと思う。

<健康保険委員>

(H25上期で)受診率は上がっているようだが、まだ5ヶ月半残っている。下期の見込みはほぼ毎年一定なのか。また「どようび健診」は大変良い取り組みだが、事業所でもこういった健診をしていることを周知してかまわないか。

<事務局>

生活習慣病予防健診は4月~12月までで受診が多い。1~3月は落ちる。毎年同じ波はあるが、予想は例年の推移をみて立てている。

<学識経験者>

事業者健診データの取得が12月にいきなり増加している理由は、

<事務局>

これまで同意書がある事業所のデータを健診機関から後でもらっていたが、今年は一覧表を作成し、その管理表を利用して効率よくデータをもらせるようにしたため。

<学識経験者>

いろいろな工夫を積み上げていって、すごく伸びていると思う。ただ、資料の作り方としてPDCAの平成25年度のプランを最初に提示してほしい。

<事務局>

改善します。

<加入者>

昨年東京で土曜日の健診がかなりあると聞いていた。都会では土日もやっていくなど、受容に応じた供給をしていくと伸びる。今はメディアでも健康に対する関心は高い。もっとPRして、『自分の健康管理は自分で』と健診を呼びかけてほしい。

3.平成25年度から平成26年度にかけてのPDCAサイクル(特定保健指導)

<健康保険委員>

取り組みを見てがんばっているのがわかった。事業所の受け入れが一番大変だと思うが、支部分と外部委託の分担で課題も違う。これはやり方・対象事業所が違うためか。あと、トップセールスで対象の事業所のトップと話しているのか。

<事務局>

外部委託は年度後半に健診機関へこちらの事業所を回す形を取っている。ただ健診機関では健診受診日に保健指導を受けてもらうのが一番いいが、検査項目が当日結果が出ないので難しい。できている健診機関も何か所があるが、そういうところは数字も伸びている。後日呼出しをしても来てもらえない。事業所の受け入れがやはり一番の問題。トップセールスは事業所のトップの方に来てもらえない。事業所の受け入れがやはり一番の問題。トップセールスは事業所のトップの方に来てもらえない。

<加入者>

トラックや輸送の会社で事故を起こすのは社会保険未加入のケースが多い。職種により

統計を取っているか。また、外部委託の伸び悩みの原因は。

<事務局>

統計については後ほど確認させて下さい。伸び悩みの原因としては、当日受診してその場で面接を受けられればよいが、また出向いてもらうのが難しい。

<保健医療関係者>

ITと文書で20%の差があるのはなぜか。

<事務局>

メールのやり取りは専用のプログラムにアクセスしてもらうが、文書に比べ楽しく、わかりやすい、双方向感がある。文書ではやり取りのタイミングもあるので、ITのほうがとつきやすいのではないかと。ただ今回の集計は1ヶ月分だけなので、今後様子を見ていきたい。

<学識経験者>

個人指導はなかなか大変。講習会を挟むなどするとよいかもしれない。メタボだから指導を受けるとなると難しい。メタボの方が全員受ける必要があるのかも疑問。健診の際にいろいろ出てくればと思うが。

<事務局>

支部の保健師は会社に出向いているが、皆さんが必要と感じず断られることはある。

<保健医療関係者>

6ヶ月の長期間になるし、何年かひっかかる人もいて、去年受けたからいいという方も出てくるから難しい。

4. その他保健事業

<行政>

健康出前セミナーについて、保健所と連携して役割分担してやらせてもらいたい。イベントも県で参加しているが、できるだけ協力体制を作っていきたい。

<保健医療関係者>

重要化予防事業について、二次勧奨の基準がHbA1c8.4%となっているが、あまりにも基準が高いのではないかと。医師は糖尿病患者で7%以下を目指している。ここまで放っておいていいのか。

<学識経験者>

8.4%というのはどこから出た数字か。

<事務局>

本部で決めた数字になっている。血圧は日本高血圧学会の判定値、8.4は日本糖尿病学会の「不可」の値。

<保健医療関係者>

もう少し悪くなる前から予防をしたほうがいいのではないかと。

< 加入者 >

健康イベントは予算が出ているのか。

< 事務局 >

使える予算は保険料に影響しない範囲のギリギリの中で行っている。

< 加入者 >

イベントを新庄市などで行っているようだが、全市町村でそういった催しはあるし、事業所でもやっている。毎年やっているイベントなのでそういったところも組み込んでほしい。

< 健康保険委員 >

日東ベストで11月に文化祭を行っていて、去年も今年も健康に関するイベントということで参加してもらった。常に待ちの出る状態で盛況だった。測定を受けた人は被扶養者が多いので、その後のフォローを考えて(検査を受けているか、など)いくとよいかと思う。

< 保健医療関係者 >

あちこちのイベントとドッキングしながらやってほしい。

< 健康保険委員 >

重症化予防の一次予防は自宅へ通知しているのか。効果があると思うので基準の数値を下げていたり、他の数値も加えていくなどして効果をさらに上げて欲しい。

5. 山形支部の最近の取り組み

< 学識経験者 >

データヘルス計画については今非常に関心が高まってきている。いわゆるビッグデータを活用したコンピュータ解析から様々なデータを抽出していく内容で、アメリカでもやっている。プライバシーとの関係で難しいところがある。個人データの取り扱いをどうするかがあるが、非常に重要な取り組みだ。

< 保健医療関係者 >

県の動きはどうなっているか。

< 行政 >

これからの動きとなる。

以上